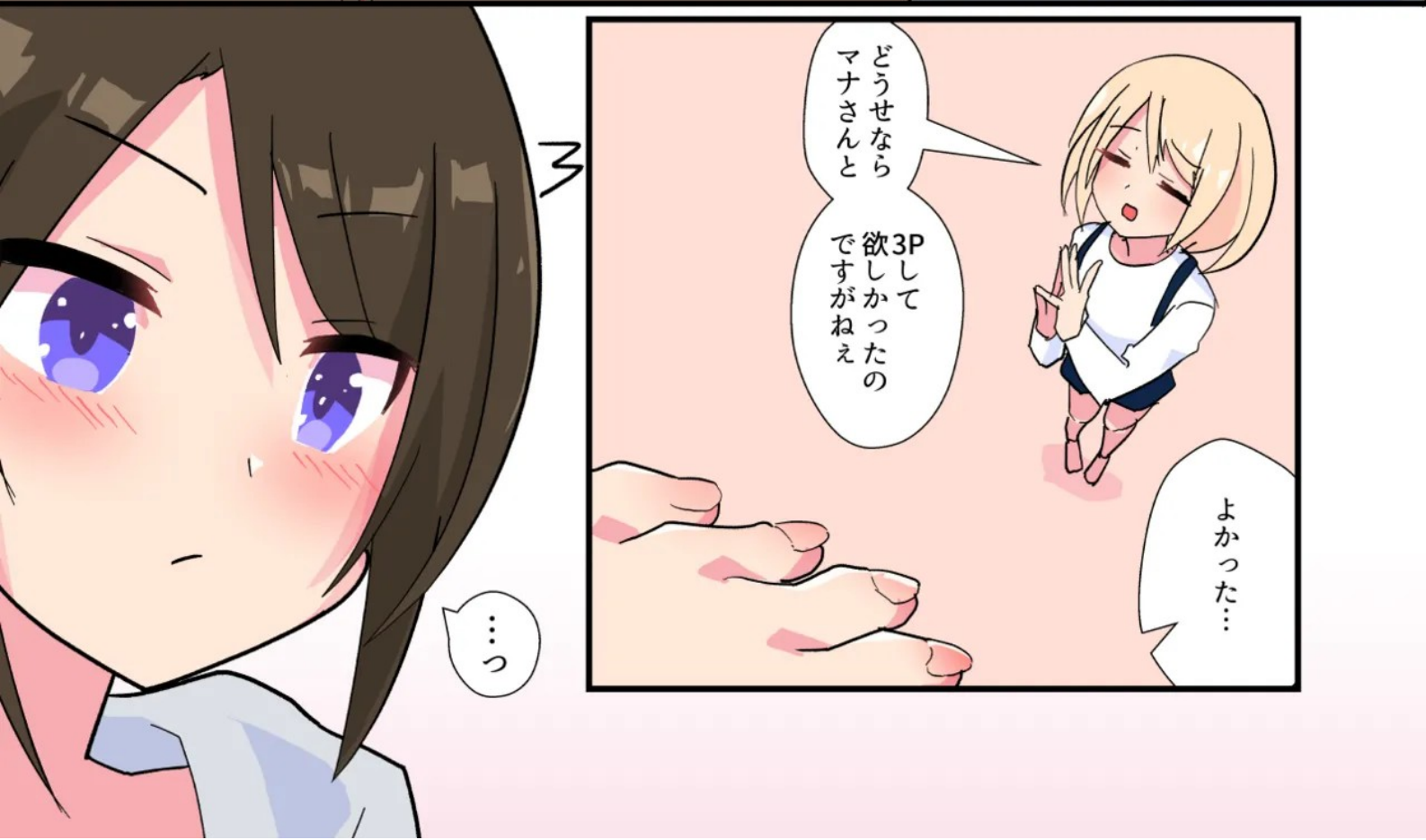
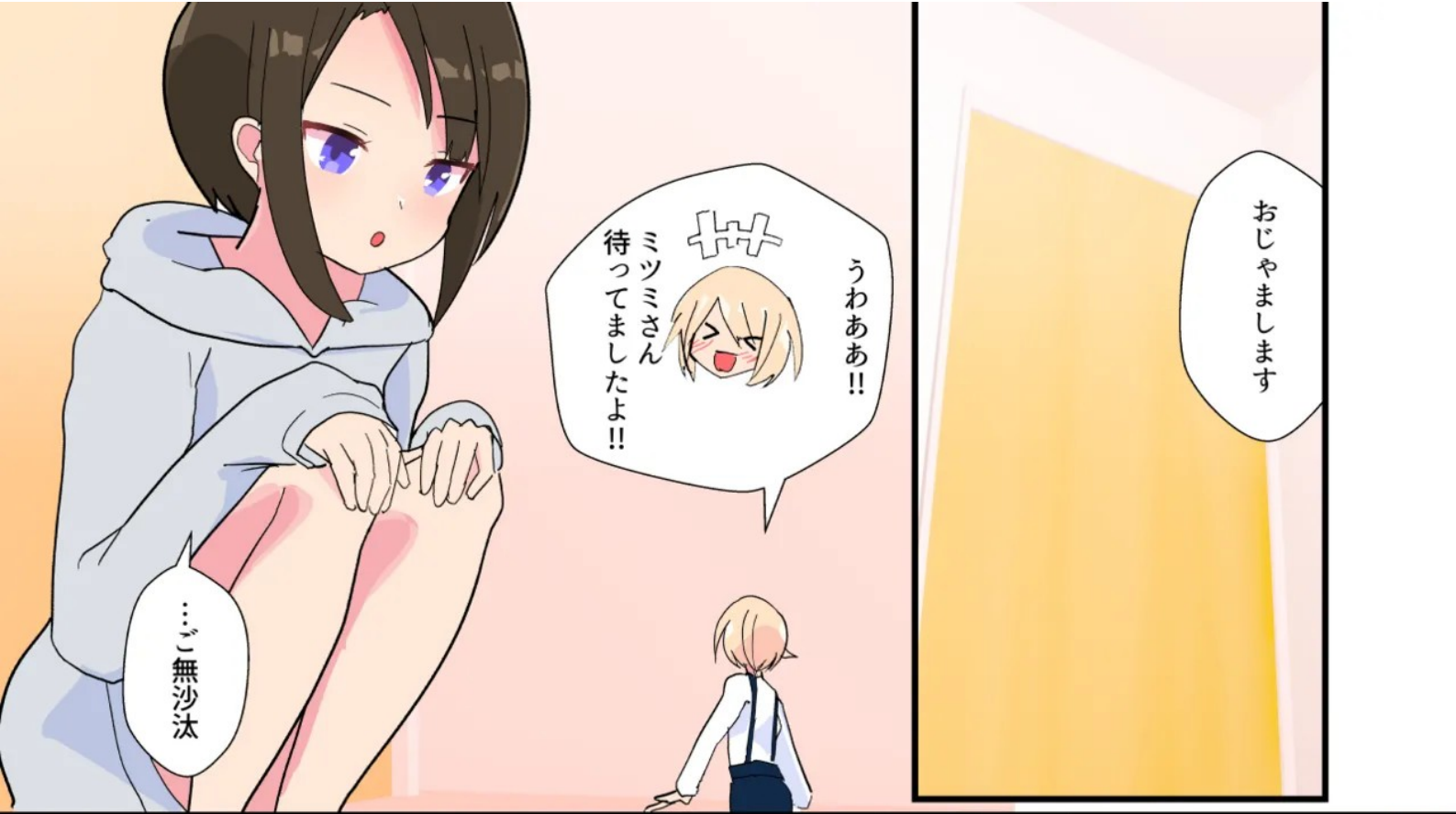
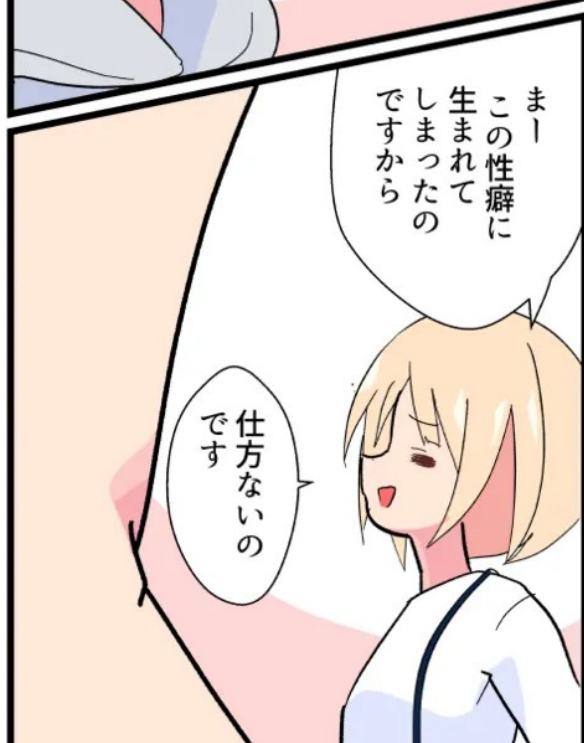
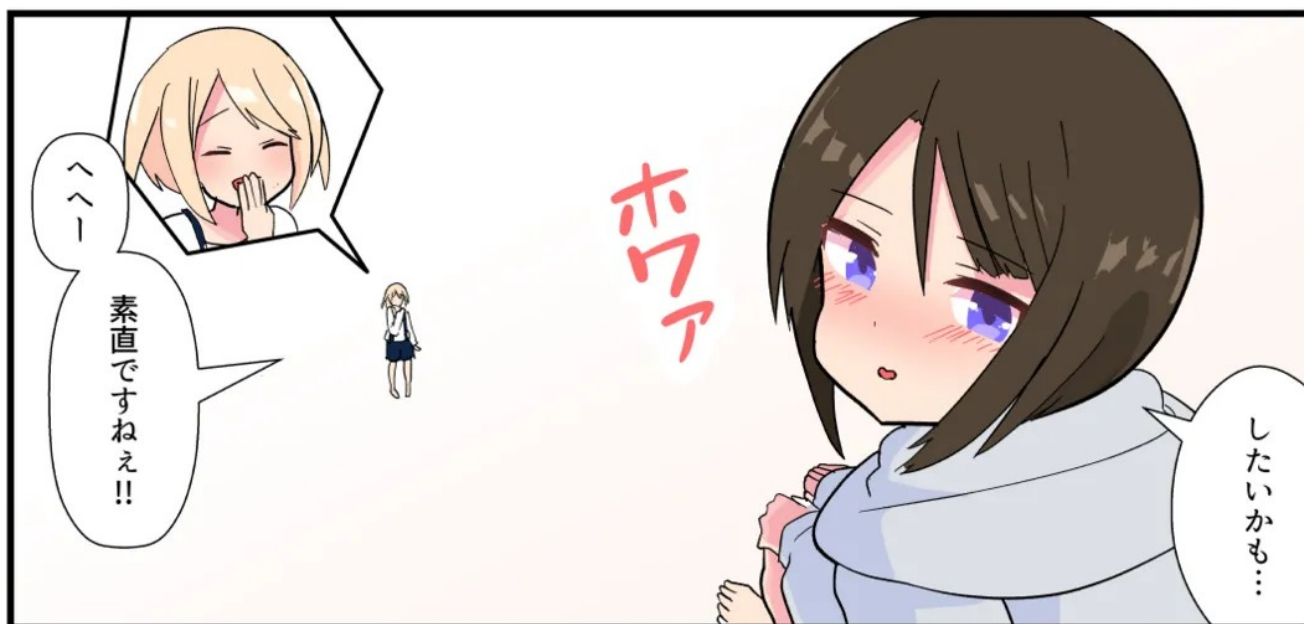
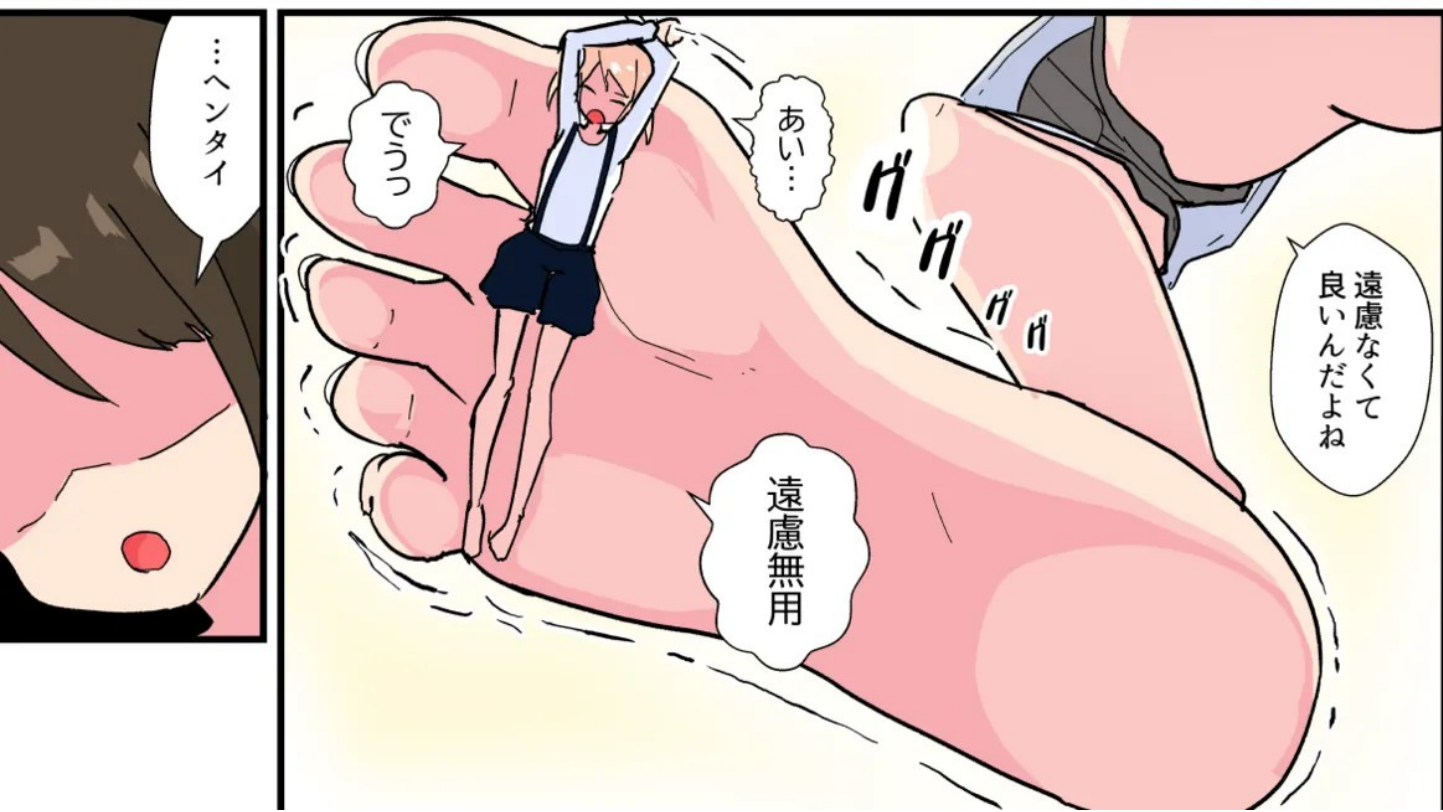
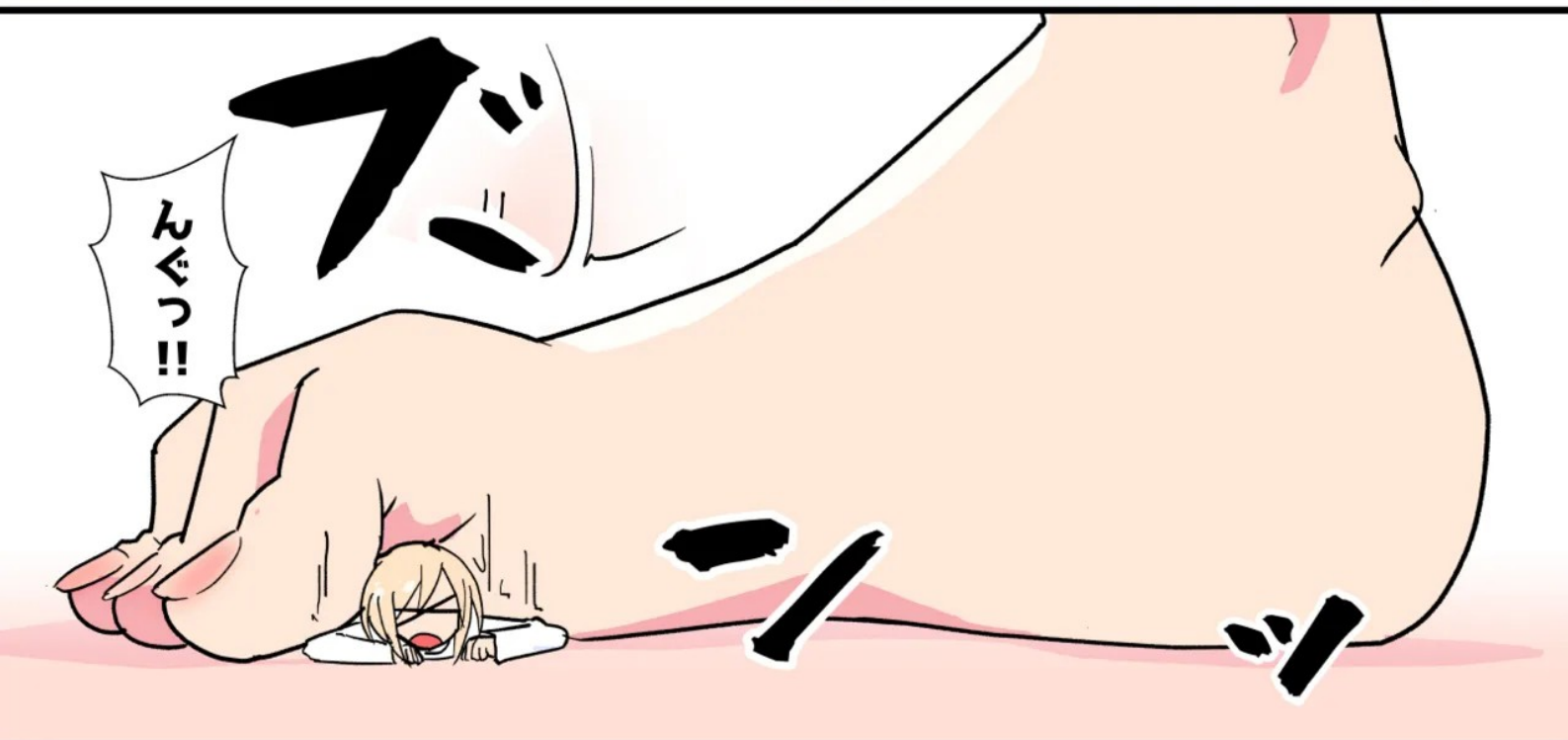








筋金入りの
ヘンタイ

小さくなって

こんな惨めな
ことされて

喜んでる

グー

罵倒も
満点…

流石ミツミさん
ですよぅ…

エヘー

どうしようもない
ヘンタイ

ッ

けど

はあ…
マナさんは

踏んづけたり
してくれないから

ミツミさんが
踏んづけてくれたり
罵ってくれて

とても
助かります

うん

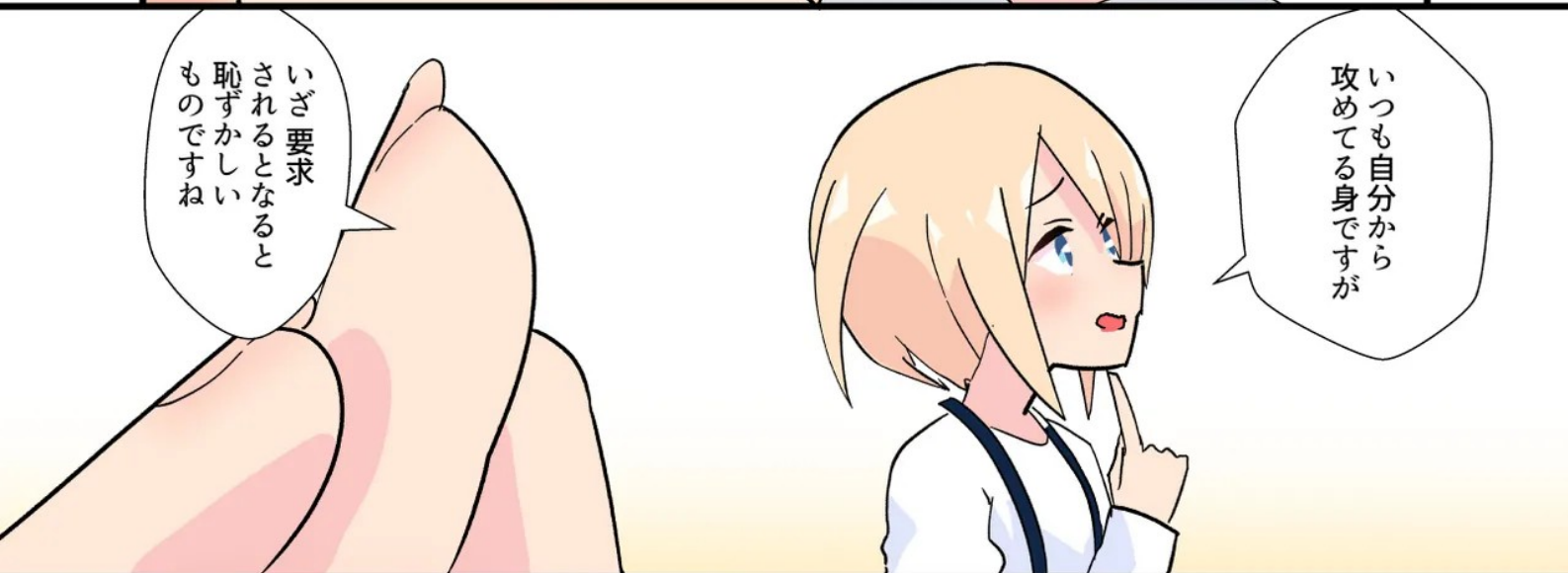
褒められてるのか
わからない

私も
楽しんでるな

今度は…

あのさ

?





床に
仰向けになって
くれますか？

こう？

そうです



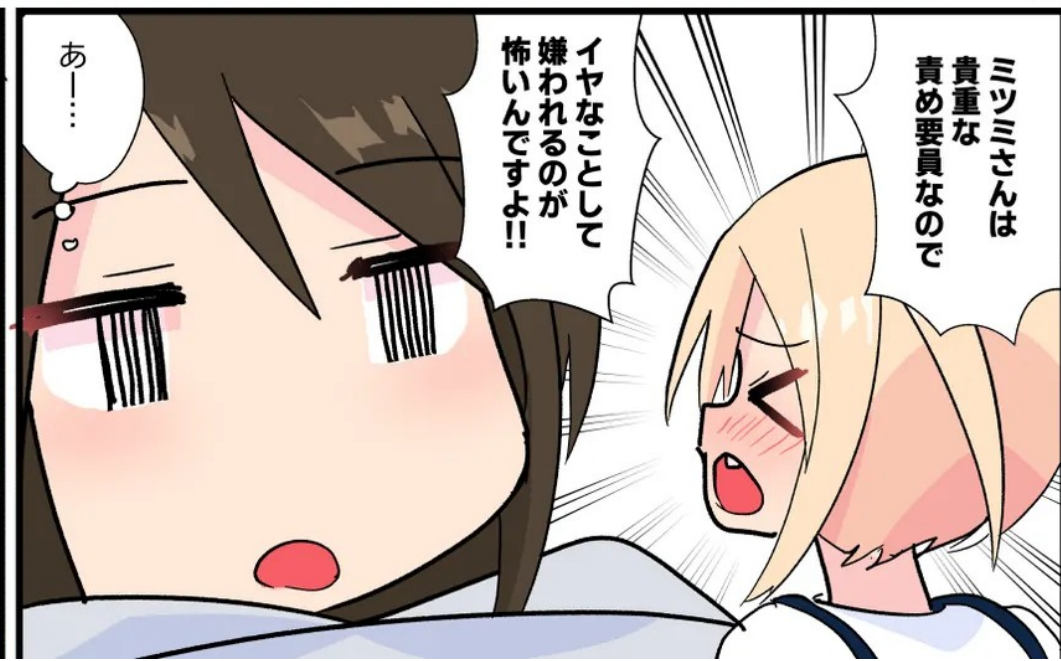
ミツミさん
嫌だったら
言ってくださいね

おいーよ

えなにそれ
アリカさんが
配慮するなんて
らしくない



なので...



ミツミさんは
貴重な
責め要員なので

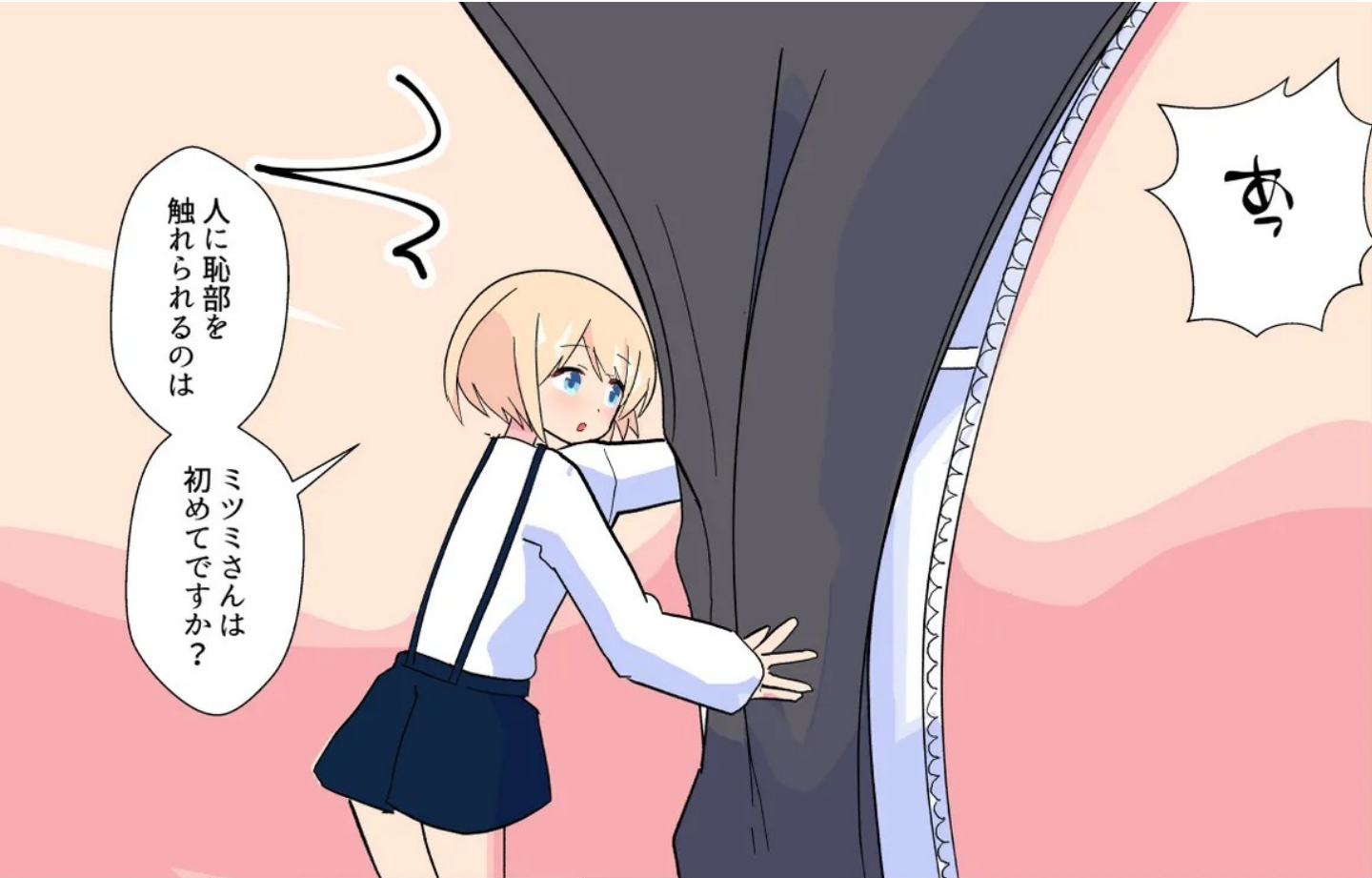
イヤなこととして
嫌われるのが
怖いんですよ!!

あー...



身体のあちこちに
こそばゆい感触が





人に恥部を
触れられるのは

ミツミさんは
初めてですか？

あ



私の毛穴が
見えるほどに
小さいアリカさんが

私のアソコを
ジロジロ
見てると思うや...



失礼

コソ

私は
小人でしたね



…ッ!!

ビクッ



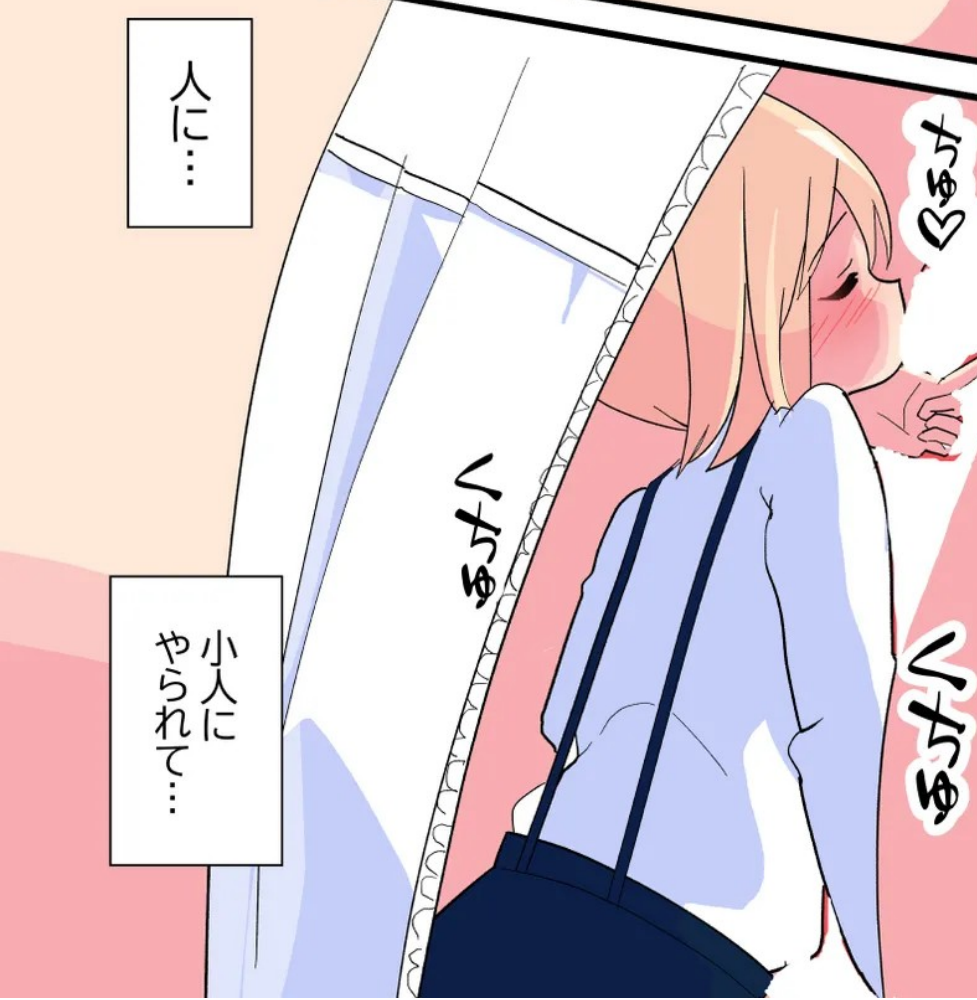
色々
溢れちゃう



そうそう
ミツミさん

ここをですね…
こうやって

ふふふ



人に…

ふふふ

ふふふ

ふふふ

小人に
やられて…

いつも私が
指でやってる
ことを



いいな
マナ先輩

いつもこんなこと
してもらえて

私も
アリカさん
欲しいな

